



こころ 心つながり えがお 笑顔ひろがり せかい 世界へはばたく

がっこう

学校だより

よこはましりついいだきた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちょう小学校

れいわ ねんど がっこう
令和3年度 2月号

れいわ ねん がっ ちに
令和4年1月31日

『ピンクシャツデー』知っていますか？

Có Biết Về 『Ngày Mặc Áo Hồng』？

您知道【粉色衬衫日】吗？

こう ちょう せき のぶや
校長 関 宣也

ピンクシャツデーとは

2007年カナダで、9年生(日本ならば中学3年生)の男子生徒が新学期にピンクの服を着て登校しました。すると周りから、「男なのにピンク色の洋服着てる、恥ずかしい」といじめられました。それを知った12年生(日本ならば高校3年生)の男子2人は、ピンクのシャツやそのほかピンク色のものを購入し、いじめられた子のために、明日の登校はピンクの服を着てくるか、ピンクのものを身につけてくるようメールなどで友人知人たちに呼びかけました。

翌朝、多くの生徒がピンクの服やピンク色の物を身につけて登校し、とうとう学校中がピンク色に染まり、その後いじめは自然となくなりました。

それ以来、毎年2月最終水曜に学校や職場、あらゆる場所にピンクを身につけて行くピンクシャツデーとして定着していくこととなります。

『Pink Shirt Day Nippon』公式HP より

これを読んであなたはどう感じましたか？

以下は私の個人的な意見ですが、是非皆さんにも考えてもらいたいと思います。

『いじめに気づいたとき、見て見ぬふりをしない、傍観者(ただ周りで見ているだけの人)になってはいけない』とされています。いじめを見たら、何かしらのアクションを起こすことが、いじめをなくす最大のことであるとわかります。

「ひとりの傍観者が、他の誰かに助けや協力を求めることもアクションのひとつ」です。

『傍観者が変われば、いじめはかなり減らすことができる』

2月最終の水曜日は『ピンクシャツデー』ということに心を留めて、この飯田北いちょうから『いじめ』をなくす意識を高めていってほしいです。

子どもでも、大人でも、学校や職場、地域で
悩んだ人が一人で抱え込まなくてもいい社会に

なっていけたらと思います。

